



計画ルート

# 豪雨災害復旧に57億余

## 山口市の9月補正予算案

【山口】山口市は、2日から開かれる9月定例会議に7月28日の記録的な豪雨で阿東徳佐地域などで甚大な被害を受けた公共土木施設、農地、農業用施設、林業用施設等の災害復旧の対応として57億3868万6000円を追加する一般会計の補正予算案などを提出する。これで一般会計の総額は831億2192万

円となった。会期は2日から24日まで。  
内訳は、衛生費500万円、農林水産業費1億5568万6000円、商工費400万円、土木費4000万円、災害復旧費55億1400万円、予備費2000万円。  
なお、9月議会には、先ごろ施工業者が決まった山口保育園舎増改築（鴻城土木工業・旭建設工

業J.V、契約金額3億4125万円）、宮野小学校屋内運動場増改築（山口建設・シマダJ.V、同2億8171万5000円）、秋穂小学校校舎改築（磯部工業・古田組J.V、同4億5990万円）などの工事請負契約の締結についての議案も提出する。建設関係分の補正は次の通り。  
（単位1000円）

- 【農林水産業費】単市小規模治山50、000▽測量設計委託15、000
- 【土木費】がけ崩れ災害緊急対策30、000▽測量設計委託10、000
- 【災害復旧費】現年発生耕地災害復旧2、000、000▽現年発生林道災害復旧等170、000
- ▽現年発生土木災害復旧2、980、000▽測量設計委託230、000
- ▽観光施設災害復旧14、200

【簡易水道事業特別会計】簡易水道施設災害復旧2882、000

## 全国27ヵ所、延べ3000人参加 —コンクリート補修フォーラム—



### JCMCAが実施報告会

会や、（公社）日本コンクリート工学会などが後援した。  
メイン講師の江良氏とともに全ての会場でマイクを握った徳納会長は「物理的にきつかったのは我々かもしれないが、大成功で終えられたことは皆様のご協力のおかげ。この成果を仕事に結び付けられるよう、一層頑張りたい」と会員の協力を感謝。

修の重要性が高まりを見せる中、補修・補強に関する正しい知識の普及と啓発を目的に開催。内容は「コンクリートの劣化と補修工法選定の考え方」（講師＝極東興和・江良和徳氏）と「コンクリート剥落防止と塗膜型剥落防止システム」（日本ペイント販売・中丸大輔氏）の2本立てで行われ、広島会場では「支承リバイバルシステム」（タイクレ興産）も披露。（公社）土木学

（一社）コンクリートメンテナンス協会（JCMCA、徳納武使会長）は23日、『コンクリート構造物補修・補強に関するフォーラム』の実施報告会を広島市中区上職町のホテルJALシテイ広島で開き、5月から8月までに全国27ヵ所で開催し、延べ約3000人の参加で盛況のうちには終了したフォーラムを振り返った。同フォーラムは、コン

さを短くし館との関係点などが業務場所 呑町3553 業務内容 通・特別教棟、渡りから屋内運球場（4号）新たに校舎

中建日报社HPアドレス

<http://chuken-news.com/>

大 中 防 衛

中国四国 月20日付 成績評定 ため、請負 6件の成